

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 26 年度第 5 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 8 月 23 日 (土)
午後 13 時 30 分から午後 17 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室
(東京都文区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)
出席監事 2 名
オブザーバー 6 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員
理事 津田 敏隆
理事 木村 学
理事 中村 正人
理事 ウォリス サイモン (skype 出席)
理事 北 和之
理事 高橋幸弘 (TV 会議出席)
理事 瀧上 豊 (skype 出席)
理事 田中 賢治
理事 成瀬 元 (teleOffice 出席)
理事 西 弘嗣
理事 原田 尚美
理事 日比谷 紀之
理事 古村 孝志
理事 村山 泰啓
理事 渡邊 誠一郎
監事 鈴木 善和
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 佐々木 晶
地球人間圏科学セクションプレジデント 氷見山幸夫
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治
地球人間圏科学セクション幹事 須貝 俊彦
学協会長会議議長 田近 英一
グローバル戦略委員会委員 末広 潔

午後 13 時 30 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

審議に先立ち、西理事より「第 3 号議案 平成 25 年度財産目録における特定資産の使用目的等の記載変更の件」は審議の必要がなくなったため取り下げる旨報告があった。

7. 報告事項

(1) 大会運営委員会報告 (津田会長) 資料 P.1-3

2015 年大会の準備状況について報告があった。各学協会、セクションよりプログラム委員の選出があった。9 月 1 日よりセッション提案を開始する予定である。

大会委員長について確認した。大会委員長は学協会長会議議長に依頼するのが通例である。現在の学協会長会議議長田近英一会員は惑星科学会会長の任期が 12 月までのため、それに伴い学協会長会議議長は交代となるが、大会委員長は交代とせず継続して就任を依頼する。

プログラム編成のあり方について議論が交わされた。セッションの編成上統廃合が必要となった場合にプログラム委員長がそれを行うことが容易になるよう、あらかじめ理事会の方針を示すことが確認された。

NASA 関連の企画の準備状況について事務局より報告があった。現在 NASA と JAXA のコラボレーションセッションやハイパーウォールの企画について準備中である。

(2) ジャーナル関連報告 (事務局による代読) 資料 P.4-9

ジャーナルの状況について報告があった。7 月 29 日に第 3 回ジャーナル国際編集会議が開催され、ジャーナルの出版状況や見通し、今後の計画、投稿システム「Editorial Manager」への変更などについて報告があった。

(3) 委員会報告

総務委員会報告 (古村理事) 資料 P.10-12

連合定款第 49 条および法人運営基本規則第 17 条を確認し、委員会委員は正会員の中から理事会が推薦し、会長が委嘱する委員により構成することが確認された。

また現在申請中の共催・協賛・後援について報告があった。

男女共同参画委員会報告（原田理事） 資料 P.13-14

8月4日に開催された男女共同参画学協会連絡会運営委員会について報告があった。中で、「女性リーダー・若手育成」ワーキンググループのリード役を連合が引き受けることを検討した。負担が集中しないように注意しながらであれば引き受けることができるのではないかということになった。

(4) The 40th COSPAR SCIENTIFIC ASSEMBLY 報告（佐々木プレジデント） 資料 P.15-21

COSPARの沿革と現状について、報告があった。国際会議について、連合のホームページ上に情報を掲載しリンクを貼るなど関係を強化していくことの提案があった。

(5) ユニオンサイエンスボードに関する報告（津田会長） 資料 P.22-23

前回第4回理事会にて承認されたユニオンサイエンスボードメンバーを確認した。

8. 審議事項

第1号議案 会員（正会員）入会承認の件（古村理事）資料 P.24-25

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者を承認した。

第2号議案 理数系学会教育問題連絡会シンポジウム共同主催承認の件（古村理事） 資料 P.26

教育検討委員会委員長畠山正恒理事より、理数系学会教育問題連絡会シンポジウム「これからの理数系教育を考える 2014」へ連合が共同主催することの申請があった。審議により、これを承認した。

第4号議案 委員会の廃止と設置について（古村理事）資料 P.27-31

前回第4回理事会第7号議案にて大会運営委員会情報局が廃止となったため、それに伴って情報システム委員会規則の該当部分第4条の削除を審議した。これを承認した。

フェロー制度の設立が完了したため、フェロー制度準備委員会を廃止することを審議した。これを承認した。

25周年記念事業準備委員会の名称を25周年事業実行委員会と改称することを審議した。これを承認した。

学協会連絡委員会は通常の委員会と構成が異なるため、委員会としては廃止し法人運営基本規則第9章第16条からは削除する。ただし、改称して現在の連絡員としての体制は維

持する。以上を承認した。

第 5 号議案 フェロー制度規則変更の件（津田会長） 資料 P.32-35

フェロー制度規則の名称を「公益社団法人日本地球惑星科学連合フェロー制度規則」と改称すること、また第 4 条に定める推薦者の要件から正会員である者の条件をはずし、「フェローは、推薦により候補者となるものとし、」とすることを審議した。これを承認した。

フェロー審査委員会規則の名称を「公益社団法人日本地球惑星科学連合フェロー審査委員会規則」と改称することを審議した。これを承認した。

第 6 号議案 国際戦略対応事務局体制強化検討 WG 設置の件（津田会長） 資料 P.36

国際戦略対応事務局体制強化検討ワーキンググループの設置とそのメンバーを審議した。案の通り、グローバル戦略委員会委員長・木村学理事，総務委員会委員長・古村孝志理事，総務委員会・成瀬元理事，財務委員会委員長・北和之理事，財務委員会・西弘嗣理事，事務局谷上美穂子をメンバーとし承認した。

第 7 号議案 2015 年大会 25 周年記念シンポジウムの実施計画等について（津田会長）
資料 P.37-39

2015 年大会にて開催される 25 周年記念シンポジウムの実施計画について議論した。今後とも現在の計画案にしたがって準備を進めることとした。

第 8 号議案 連合のグローバル戦略について（木村理事） 資料 P.40-47

連合のグローバル戦略について検討し，意見交換を行った。

2014 年 7 月 16 日ワシントンにて開催された連合と AGU とのミーティングの議事録が紹介された。AGU とのジョイントミーティングは 2017 年の予定である。このジョイントミーティングへ参加者を増やすためには，サイエンスセッションの中身の検討が重要であるという意見があった。また，財政面や公益法人としての立場などについても充分検討しなければならないという意見があった。グローバル戦略委員会が中心となって今後も検討するとした。

AGU Fall Meeting へのブース出展を検討した。広い面積で出展し，連合の広報，PEPS の広報，関連大学の広報，加盟学協会の広報などに利用する予定である。学協会からはブースを利用するに当たり出展料を予定している。今後学協会に告知をする。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ，閉会を宣した。（午後 17 時 00 分）
以上の議事の要領及び結果を明確にするため，本議事録を作成し，出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

平成 26 年 8 月 23 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 5 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	原田	尚美	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印